



ハートがふれあう住民自治のまち

議会だより かみがわ



神河町マスコット
キャラクター
「カーミン」

第 47 号

平成 28 年 7 月 13 日



やまびこ学園での通学合宿

第4期神河町議会後半がスタート 2 ~ 3

子育て世帯、更に負担軽減 4

委員会の活動 6 ~ 9

4人が登壇 いっぱん質問 10 ~ 13

2

議会の構成が変わりました

第4期 神河町議会

『安全で安心して暮らせる
神河町を皆様と共に創るために』



副議長 廣納 良幸

まいります。

全議員が一丸となり、皆様が安心して暮らすことが出来る神河町にしたいための礎になりたいと私は思っています。

少子高齢化が言われだして相当な年月が過ぎています。我が町も、少子化が進み、超高齢化時代に入っています。人口減少時代の今、国は予算の面から、特に医療・介護

とも縮小傾向にあり、入院期間の短縮、在宅介護の推奨等々、高齢者の皆様にご負担を多くおかけしている時代でもありません。

限られた予算の中で、町長と共に議会も町民の皆様が安全に、また安心して暮らしていただけるように、もっと努力して

現在、我が町も人口減少問題に多くの力を傾注しており、様々な施策を展開し、少しずつではありますが、成果が上がっています。将来の子どもや孫・ひ孫たちに素晴らしい神河町を残すためにも、皆様のご理解とご協力をお願いするところでございます。

残す任期は2年を切りましたが、全議員と執行部との潤滑油としての役目もあると思っております。町民の皆様のお声が反映される議会であるように、渾身の力で努力することをお誓いし、就任のご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

議会選出監査委員

藤原 日順

議会運営委員会

委員長 山下 皓司
副委員長 藤原 裕和
委員 宮 永 肇
委員 小林 和男
委員 廣納 良幸

広報公聴活動調査 特別委員会

委員長 藤原 資広
副委員長 三谷 克巳
委員 山下 皓司
委員 藤森 正晴
委員 小寺 俊輔
委員 松山 陽子

人権文化推進 特別委員会

委員長 廣納 良幸
副委員長 藤原 日順
委員 藤原 裕和
委員 宮 永 肇
委員 小林 和男

公立神崎総合病院 北館改築事業調査 特別委員会

委員長 藤森 正晴
副委員長 松山 陽子
委員 議長を除く
全議員

峰山高原スキー場 整備事業調査 特別委員会

委員長 三谷 克巳
副委員長 小寺 俊輔
委員 議長を除く
全議員

事務組合議会議員

中播衛生施設事務組合議会
議員 安部 重助
議員 小林 和男

中播北部行政事務組合議会

議員 安部 重助
議員 廣納 良幸
議員 小林 和男

中播農業共済事務組合議会

議員 安部 重助
議員 藤原 裕和

子育て世帯、更に負担軽減

第70回定例会は、6月16日から29日までの14日間の会期で開催されました。

各委員会報告、諸報告に続き、町からは報告2件、諮問1件、中播公平委員会委員の選任1件、条例改正3件、平成28年度補正予算6件、第2次神河町行財政改革大綱承認1件の14件が提案され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり全員の賛成で承認、可決しました。

また4人の議員による一般質問が行われました。

第3子以降の預かり保育料無料

幼稚園給食費、負担軽減

平成28年度神河町一般会計補正予算（第1号）、第2次神河町行財政改革大綱の承認の2議案については総務文教常任委員会に付託された。

補正予算は第3子以降の幼稚園給食費の減額に関わる歳入の減額や地域おこし協力隊募集に関わる費用等で、総額309万3千円の増額になります。

また第2次神河町行財政改革大綱は、第1次行財政改革大綱策定から10年が経過し、人口減少、普通交付税の一本算定等による歳入の減少が見込まれるなか、将来にわたって持続可能な行財政運営を進めるものです。

条例改正の主な内容は、第3子以降の幼稚園預かり保育料を平成28年4月に遡って無料とし、平成28年7月からは月ごとの預かり保育料に上限を設けるもので、子育て世帯の負担軽減をより一層図るものです。



預かり保育の様子

委員会では第2次神河町行財政改革大綱について、「公共施設には建設当時の背景や地域の思い入れがあり、行政として共通認識を持つ必要がある。施設の老朽化、利便性といった合理的思考のみで統廃合の是非を判断するのでなく、背景・地域の思いを大切に、住民サービスの低下につながらないように。」と強く申し入れた。

人権擁護委員の推薦

平成7年から人権擁護委員としてお務めいただいている田中常生氏（高朝田）が9月30日をもって任期満了となります。

その後任に、井上智博氏（寺前）を推薦したい旨の提案があり、「適任者である」との意見を付しました。



井上智博氏（寺前）



森本佳也氏（上小田）

平成20年から中播公平委員会委員としてお務めいただいている浦上健治氏（高朝田）が6月30日をもって任期満了となります。

その後任に、森本佳也氏（上小田）を選任したい旨の提案があり、全会一致で同意しました。

中播公平委員会

委員の選任

第69回臨時会

第69回臨時会に提案された議案は、専決処分4件、条例改正1件、契約締結1件、神崎総合病院北館改築基本構想・基本計画の承認1件で、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり全員の賛成で承認、可決しました。

また申し合わせによる議会の構成替えを行いました。

主な議案の内容

国民健康保険税条例等の一部改正（専決処分）

国保税の基礎課税額の限度額を52万円から54万円に、後期高齢者支援金等課税額を17万円から19万円に引き上げるものです。

また、軽減できる世帯の軽減判定に用いる所得額の変更で、5割軽減世帯は、26万円から26万5千円に、2割軽減世帯は47万円から48万円に引き上げるものです。

デジタル防災行政無線システム（同報系）整備工事請負契約

防災行政無線整備工事の事後審査型条件付一般競争入札を4月25日に行いました。

その結果、落札業者となった神戸市の（株）協和エクシオ兵庫支店と5億1494万4千円で請負契約を締結したので議会の議決を求めるものです。

工期は、5月2日から29年3月23日までとなっています。

公立神崎総合病院北館改築基本構想・基本計画

病院北館の改築に向けた基本方針、部門別計画、経営改善計画です。

建設整備計画では、概算事業費が33億4千万余りとなっています。

28年度に基本設計・実施設計を作成し、29年度から工事に着手、31年3月の完成、4月オープンを目指しています。

平成27年度一般会計補正予算第8号（専決処分）

国からの各譲与税、交付金、特別交付税の確定などによる補正で、予算額を8181万5千円増額し、総額を92億5753万3千円とするものです。

収入が増額となったため、財政調整基金の積立を8014万5千円増額しています。

また、27年度の特別交付税は5億2650万1千円となりました。

委員会の活動

総務文教

5月10日、委員8人全員の出席の下、委員会を開催し、各課の所管事務の事業執行状況調査を行いました。
主な内容は次のとおりです。

のうち1人が神河中学校へ入学した。

銀の馬車道について、今年度は日本遺産登録に至らなかった。今後の戦略を練る必要があるとの発言があった。

Q 温水プールの雨漏りにどう対処するか。

A 損傷状況は十分把握している。緊急の対策を行う。

教育課

閉会中の継続調査事項を主に、教育委員会の機能を生かした活動や施設の維持管理状況等について説明を受けました。

①子育て世代の経済的負担の軽減について
・幼稚園預かり保育料の軽減
・学童保育クラブ管理運営の変更を6月定例会に提案したい。

②地域交流センターの28年度留学生が11人となった。また、昨年の卒業生

Q 小規模校を残すなら、複式学級でなく、単式で学ぶことが必要。

ネットで結ぶなど町内同一の教育ができる仕組みの検討を願いたい。

A 同じ教育を受けることが基本である。テレビ会議のような形で他校と交流ができるような研究を進めたい。

情報センター

①28年度にCATV全体の管理運営を公設民営の方向でプロポーザル（企画提案型入札）方式により業者を決定したい。

Q 公設民営方式で、住民との関わりなど配慮が必要と思うが。

A 政策調整会議で検討し、財政上のデメリットが少ないと判断した。

Q 業者決定の時期は。

A 次の委員会に、おおむねのことは出したい。

②番組制作を東洋メデイアサービス(株)に委託。期間3年間。

総務課

①行政運営の取組
②行財政改革最重点事項取組の進捗状況
③公共施設等総合管理計画の策定状況
④長期財政計画について説明を受けました。

Q 住民生活に関わるものも多いと思う。住民説明をどう考えているか。

A 公共施設の計画は、それぞれの担当課と連携をとり、利用されている方や地域の住民の方に説明し、配慮しながら進めていきたい。

Q 行財政計画の実施計画は5年間となっている。今後、議会との議論も必要だと思うが、5年後には、この計画に沿った結論が出ると判断してよいのか。

A 5年後に向けて行財政改革を推進していく。計画の中には公共施設等総合管理計画があり、これについては30年スパンで考えている。目標に向けて成果を上げていきたい。



越知谷小学校でのテレビ会議システム体験学習

ひと・まち・みらい課

- ① 27・28年度の地域創生事業の取組
 - ② 事業実施に必要な各要綱等の整備
- についての説明を受けました。

Q 「アグリイノベーション神河」という団体を設置とあるが、その構成員が事業者というところか。

A そうなる。地域経済循環創造交付金事業で実施する。軌道に乗るまでは、町が関与することが出てくる。

Q アグリイノベーション事業の中で、牧場誘致があるが。

A 町が誘致し、地域に協力をお願いする。

牧場から出る良質な堆肥を町内の農地に散布し価値の高い野菜を作る。専門家による指導助言、販路開拓等の条件を整備する。これらと加速化交付金を使って、「アグリ

イノベーション神河」を立上げ、儲かる農業を目指す。そうすることで、町内で仕事を創り若者定住を図りたい。

アグリイノベーション神河とは

アグリは農業。イノベーションは革新。良質な堆肥で土づくりを行い、付加価値の高い健康野菜を生産から流通販売などを行う組織。

会計課

公金管理状況、出納管理は適切と判断しました。

税務課

収納状況、滞納状況の説明を受けました。

Q 不納欠損処理の内容はどうか。

A 整理し、取組状況を報告する。

民生福祉

5月19日、委員8人全員の出席の下、委員会を開催し、各課の所管事務の事業執行状況調査を行いました。

主な内容は次のとおりです。

公立神崎総合病院

- ① 27年度の3月末時点での仮決算状況
 - ・ 外来患者数は前年度対比1.2%の減、入院患者数は前年度対比6.3%の増となっています。
 - ・ 医業収益は30億3532万円で、前年対比9228万円の増益となっています。
- ② 新たな医師確保状況
 - ・ 神戸大学から常勤の整形外科医師が2人。
 - ・ 大阪医科大学から週1回勤務の総合診療科医師が1人。
 - ・ 修学資金制度を利用された内科医師が1人。

③ 北館の建替え
5月2日の臨時会で基本構想・基本計画が承認され、基本設計、実施設計業務に入ります。

Q 朝来医療センターができたことによる影響は。

A 当病院は150床で常勤医師21人だが、朝来医療センターは同じ病床数で常勤医師は8人である。交通の便からも大きな影響はないと考えている。

Q 透析患者の送迎について検討は。

A 実施している他の病院を参考に検討している。

健康福祉課

地域局との統合後も支障なく業務は遂行されていると報告を受けました。

――27年度事業について――

- ・ 各種健康診断事業の受診者数は、特定基本健診・各種がん検診は前

年同期を上回る結果でした。

- ・ 各種健康づくり事業は、延べ83回で参加者は4247人でした。
- ・ 健康相談事業は、延べ73回で参加者は898人でした。

Q 地域包括ケアシステムはいつまでに完成させ、目指すところは。

A 29年度末を一定の目標としている。

目指すところは、どのような身体状況になっても自分の家で、住み慣れた地域で住み続けることができる支え合いの地域づくりである。町内各所に集いの場ができることを第一歩と理解している。

Q 介護保険の要支援1・2の方は、29年度から総合事業対象に変わるが、訪問介護の利用は。

A 全ての方が利用できないのではなく、必要性のある方へのヘルプ事業は残しておく予定である。

住民生活課

Q クリーンセンターの使用期限延長を福本区に申し入れをしたと聞いたが、延長年数は提示したのか。

A 福本区には具体的な年数を提示している。

Q 新しいごみ処理場の建設予定は。

A 市川町と2町で新施設を造る話をしているが、福崎町ともコンタクトをとりながら進めていく考えである。

Q 新田区、刈区は洪水や内水氾濫の場合、使える避難所がないが、その対策は。

A 新田区は新田ふるさと村が使えると思う。刈区は、危険が及ぶ前に町から情報を流し、避難誘導をする。また、避難用の車を用意するなど臨機応変に対応できるようにしていきたい。

産業建設

5月16日、委員8人全員の出席の下、委員会を開催し、各課の所管事務の事業執行状況調査を行いました。
主な内容は次のとおりです。

地域振興課

《商工観光係》

町内の観光施設の老朽化の状況や経営状況等、基本的な方向性と実現に向けた「神河町観光施設保全活用整備計画」の説明を受けました。

Q 外国人観光客を増やすことを目標としているが、この町にしかない魅力づくりが必要では。
A 素晴らしい自然などをPRし、頑張っていく。

Q いくら観光客が来ても、経済効果が上がらなければならない。検討状況は。

A 商工会と連携し、特産品づくりや神河弁当の事前予約などで経済活動に結び付けたい。

《地域振興係》

Q 地域優良賃貸住宅中村団地の第2期建築工事は、第1期目と同規格でも設計費は必要なのか。

A 国からの指摘があり、10m以上のボーリングが必要なので、同じ設計書を使うことはできない。

Q 喜楽鉱業の増設を耳にするが、公害監視委員会や地元への説明は十分に行うよう申し入れていたきたい。

A 地元の協力あつての企業なので、しっかり協議するよう、再度確認する。

《農林業係》

Q 林業では後継者不足等で困っている。

A 森林整備では昨年の税制改正で森林環境税が導入されることが決まった。将来的には財源が確保されている。そういった財源を活用し、森林整備・人材育成などを支援していきたい。

Q ピノキオ館のトイレとテラスの改修を早急にすべきではないか。

A 早期に発注し、夏休みまでに完了させる。

Q 県の農業施策は法人化した大規模農業の支援に偏っているように思える。神河町のほとんどが小規模農家だが町としてはどのように守っていくのか。

A 集落営農組織のない地域どうして農業機械の共同利用組合の設立や小規模な集落営農組織の結合など、いろいろ検討する必要がある。神河町地域農業再生協議会があり、その中でも検討していく。



改修されたピノキオ館テラス

地籍課

Q 高齢化等により地籍調査の立会いが困難になっている現状がある。今後どう対策しているのか。

A 現地まで行っていたが、今は集会所で図面、航空写真などで大枠を確認いただく方法が必要になってくると思っている。

Q 委任者や代理人に立会いを頼めば費用が発生する場合があるが、支援策はあるのか。

A 調査には所有者の立会いが義務であり、助成は考えていない。

上下水道課

Q 下水道施設は補助事業で整備されたが、統廃合はスムーズにできるのか。

A 下水道には、公共下水道、農業集落排水、コミプラがある。統廃合には認可変更が必要だが

エリアを分け、線引きをしていけば問題はない。

Q 町が管理する道路以外に埋設している管路の管理はどうしているのか。

A 基本的には公平にしている。関係区長や団体等の方と相談しながらやっている。

Q 下水道の統廃合計画があっても、不明水の流入は心配はないのか。

A 不明水が発生するのは台風や大雨時で、年間雨量の最大値や雨天日数を参考に計画を立てている。また不明水を極力止めるようにする。

建設課

Q 舗装前より市場橋の継ぎ目での振動が増えたと思うが、問題はないのか。

A 桁と桁の間詰コンクリートに漏水があり、舗装し防水加工をしている。

工法的に多少の段差ができる。今後様子を見ながら、対応していきたい。

Q 橋梁長寿命化修繕事業で主に修繕が必要なものとは何か。

A 伸縮継手からの雨水によるさびや鉄筋の露出が特に多い。



鉄筋が露出した橋の裏

人権文化推進 特別委員会

5月20日、委員5人全員の出席の下、委員会を開催し、所管事務の事業執行状況調査を行いました。主な内容は次のとおりです。

① 本人通知制度

5月16日現在の登録者数は、473人です。また、第三者や八士業者が戸籍謄本等を取得したため、本人に通知した件数は75件です。

登録者数を増やすため、行事の際には臨時窓口を設けて対応しています。登録有効期間は3年で、登録廃止の意向がなければ登録を継続することになりました。

② 人権学習支援事業

人権教室での素晴らしい作文などは、町内全学校で発表して、人権に対する考え方、感じ方、想いを共有することが大切であるとの意見がありました。

その他に手話ボランティアの後継者を育てるため、学校で手話学習を取り入れていただきたい。また、手話サークル等の参加を啓発してもらえよう要請をしました。



地区別人権教室

みなさんの^声を町政に

4人が登壇 いっぱん質問

公共事業で働く労働者の賃金アップでまちの活性化を



小林 和男 議員

町長

最低賃金以上を順守させる
要綱の制定と入札価格の引上げを図る

Q 公契約条例とは、公共事業で働く労働者（下請けも含む）の最低賃金を規定する地方条例である。

6月1日付の神戸新聞でも、県が発注する公共事業受注者は、労働者に最低賃金以上の支払いを徹底させる要綱を制定したと報道がされていた。

県内では、加東市、三木市、加西市は条例を制定している。

この条例を制定することで、労働者の適正な労働条件が確保されるため、町内の就労者が増え、地域創生につながることが期待される。

一方で入札価格が上がると、町の財政を圧迫する懸念があるが、他方では税金が増えるため、この制度は広がっている。公契約条例を制定し、労働者の賃金アップでまちの活性化を図ってはどうか。

A 山名町長 経済的安定が、地域経済を活性化させることに異論はない。そのための条件整備は行政の責務である。

まずは、県要綱の精神を踏まえ、労働者を使用する全ての契約において、労働条件の確保、とりわけ最低賃金以上の賃金支払い等を町が自ら率先垂範することは勿論のことである。受注業者への指導も徹底していきたい。

同時に、町が発注する



多くの方が関わる大規模公共事業

Q 公共事業の入札最低制限価格も見直しする。

開札結果を見の中で、最低制限価格の見直しは、町内業者にとって、本当に必要なことだと思ふ。その見直しはいつか。

A 日と総務課長 今年度中を目途に検討したい。

なお、最低制限価格は平成26年度にも上げたため、町の財政状況や他の労働賃金等を勘案しながら検討する。

また、受注業者が購入する材料をできるだけ町内で購入していただき、経済が地域循環するようにしたい。



除雪対策の強化を



山下 皓司 議員

町長

幹線道路を主に除雪対策を改善する

Q 地方自治体は、住民の福祉の増進を図ることを基本に地域の行政を自主的かつ総合的に実施する役割を担うもので、公平・平等を基本に町域全般を見据えた行政運営が求められる。反面、地理的な面や弱い立場にある人への対応は、行政として特別な施策を行う必要がある。神河町は、公平・平等な町政の推進、そして辺地等に配慮した施策がされていると見ている。その中で更に取組が必要と思うのが、降雪の多い地域の除雪対策である。地域の方が安全な生活を送ることができるよう除雪を強化すべきと思う。

- ① 現状の除雪対策を強化する考えはないか。
- ② 降雪時の実態をどう把握しているか。
- ③ 他市町の状況は。
- ④ 除雪対策を強化する考えはないか。
- ⑤ 除雪費に対して交付税措置はどうか。

A 山名町長

① 現在、越知谷、大山、上小田、長谷・川上の4方面に分け業者に委託して実施している。積雪10cm以上を基準に出動し、北から対応している。越知谷方面は朝5時30分から、町道作畑・新田線、上越知1号線のうち、新田から岩屋へと行っている。作畑・新田線、上越知1号線は区長様から要請があれば、塩カル散布も行う。大山方面は朝6時から、上小田、長谷・川上方面は朝6時30分から行っている。

② 区長様からの連絡により降雪の状況を把握している。越知谷方面は、朝4時に新田区長様から担当者に連絡が入り、委託業者に依頼している。その他関係地域から通勤する職員の情報もある。

③ 佐用町、宍粟市ともほぼ神河町と同様である。

河川台帳の整備と河川管理規程の整備状況は

町長

台帳・管理規程とも整備中

Q 1年前の一般質問で、意見も述べ、町の方針も聴いている。1年が過ぎ、台帳整備、管理規程の改正もほぼできていると思うが、前の質問で述べた部分が、どう改正されたかなどを質問する。

- ① 河川台帳はできているか。
- ② 各区の合意は得られたか。
- ③ 河川管理規程はどのよう改正されるか。

④ 主要道路は県道との差を改善するため、塩カル散布等を検討する。

⑤ 特別交付税で除雪経費は措置される。

A 山名町長

① 79の河川について、調査が完了した。現在、図面・写真等を整理中である。

② 区長会に説明後に調査した、町管理河川への要望を受けた河川もある。県の砂防指定地内河川も台帳整備が必要となつたので、その調査と合わせ実施する。今後も区から要望があれば検討する。

③ 砂防指定地内の河川調査等の業務が終わり次第規程整備を進めたい。



雨漏りしている町民温水プールの 維持管理と今後のあり方は



松山 陽子 議員

町長

必要な維持修繕をし、議会・住民合意のもと、
今後の方向を決めていく

Q 現在、町民温水プールの施設内西側に位置する更衣室・通路・トイレ・階段の壁や天井は、雨漏りによる傷みや汚れが激しい状態である。

このプールは、平成4年に建設され24年が経過しており、維持管理費がかさむ状況にあることは理解している。

しかし、27年度の利用者数は3万3千人で、町内体育施設の中で一番利用が多い施設であり、学校教育の場としての利用もある。そして何より、長谷地区の活性化を願って建てられた施設である。これらのことを踏まえた上で、プールの維持管理と今後のあり方についての考えは。

A 山名町長 この度策定した『神河町公共施設等総合管理計画』において、本施設を含め、各施設を評価し、平成28年度から30年間の方向性を示したところである。温水プールは、平成4年に発電所を有する地域

に交付される電源立地三法交付金事業により、長谷地域の振興発展のために建設された施設である。その2年前に建設された町民体育館とともに、町民の社会体育、健康増進施設として利用が進められてきた。そして平成10年に建設されたホテルモンテ・ローザとともに、観光交流の拠点としての機能も果たしてきた。建設後24年が経過し、老朽化が進んでいることも事実である。平成21年度には、チャラー（温度調整機）等の修繕も行ったが、抜本的な対策とはならず、都度の最小限の修繕をしてきた。

現在は、長谷小学校のプールとしての活用もあり、雨漏りは早急な対策が必要と考えている。また、町内体育施設の中で最も利用者が多い施設であることも含めて、必要な維持修繕対策を実施した上で、今後の方向性について議会・住民合意のもとで進めていきたい。

Q 揚水発電所ダム建設にあたっては、地元住民と町と関西電力とが、20年もの年月を費やし、協議を進めていかれて今がある。その過程の中で、長谷地域の振興のためにと町から「総合スポーツセンター構想」が提案され、町民体育館と温水プールはその中の施設であったと記録されている。ダム建設が同意される要因ともなった施設であることを十分に理解した上で、今後の協議を進めていただきたい。当面の対策は。

A 山名町長 プール等の建設の経緯は充分承知している。他の施設も含め背景や歴史を行政執行部全体で確認した上で、方向性を定め、議会とも議論をしていきたい。雨漏りを放置していると被害が広がり、バケツがいつまでも要る状態になっていること事態、利用者に失礼な対応である。



町民温水プールグリーンオアシス

生ごみ減量化を生かし、 負担の少ない施設を



宮永 肇 議員

町長

三者での検討委員会で、
次期計画の策定に向け、研究、協議を進める

Q 将来への展望として、
ごみ処理施設の次期
計画について尋ねる。

A 山名町長 中播北部
行政事務組合、市川

町及び神河町の三者で、
毎月1回検討委員会を開
催し、次期計画の協議を
進めていくことにしてい
る。その中で、新施設の
位置、規模、処理方式等
について議論を重ねてい
く。

具体的な方向性はまだ
出ていないが、

① 負担割合の協議

ごみの量による負担割
合を29年から重量制にし
たい。これにより、生ご
みの減量化が進んでいく
と考えている。

② 事務組合の構成

従来の二町案か、それ
とも福崎町を加えた三町
案にするか。

姫路市への委託案、神
河町の単独案も含めて、
協議に入っていきたい。

スキー場建設計画に
ついて

Q 県のあと押しがあっ
ての決断というが、

スキー場建設の目的を尋
ねる。

A 山名町長 まずスキ
ー場整備は、雪彦峰

山自然公園計画の変更承
認を受けた兵庫県環境審
議会の答申、辺地対策事
業総合整備計画の承認及
び平成28年度当初予算の
承認と、多くのご理解を
得て、今年度より事業着
手に至っている。現在は
実施計画中である。

峰山高原ホテルリラク
シアの冬場対策と安定的
経営、新規雇用の確保、
冬場大きく減少する入込
客の町内観光施設への波
及効果、経済効果などを
図ることが目的である。

A 山下観光振興特命参事

県には立上げで大変
お世話になっている。主
要な部分では、まず直接
的に、各種許可事務、
事業区域の保安林解除申

請、開発行為に係る調整
池の許可可事務。各施設
の形状・色彩の景観への
マッチングの可否判断と
許可可行為がある。

間接的には、昨年冬に
実施したリーディングプ
ロジェクトがある。今冬
も引き続き実施するが、
もし雪が少ない場合は、
デモンストレーションで
の降雪機で雪を体感して
いただく計画を立ててい
る。

現在、県には砥峰高原
を大きな観光イメージ
リーダーとして、位置づ
けていただいているが、
このスキー場の完成後
は、それに続く目玉とし
て、観光PRやインバウ
ンド事業などの間接的支
援がいただけるものと考
えている。

A 山名町長 高齢者の
方々の健康増進の観
点からもスキー場を位置
づけできればと考えてい
る。高齢者の方は、お孫
さんとスキー場へ来てい
ただきながら、一緒に遊
べるような環境も作って
いきたい。幼少期からス
キーに馴染むことで、ウ
インタースポーツによる
人口維持が可能になると
考えられる。通年雇用へ
の期待も望める。



スキー場のイメージ

主な議会日程

8月

1日(月)

第71回臨時会

9日(火)

産業建設常任委員会

17日(水)

民生福祉常任委員会

18日(木)

総務文教常任委員会

23日(火)

公立神崎総合病院北館
改築事業調査特別委員会

9月

1日(木)

議会運営委員会

6日(火)～9日(金)

第72回定例会

(提案・質疑等)

13日(火)

総務文教常任委員会
(付託)

14日(水)～15日(木)

決算特別委員会

20日(火)～21日(水)

定例会(一般質問)

28日(水)

定例会最終日(採決)

※この日程は変更となる場合があります。

第70回
定例会

いっぱん質問

ケーブルテレビ

下記のとおり再放送が行われます。
ぜひご覧ください。

《8月9日(火)》

- ① 小林 和男 議員 午後7時00分～
- ② 山下 皓司 議員 午後7時40分～

《8月10日(水)》

- ① 松山 陽子 議員 午後7時00分～
- ② 宮永 肇 議員 午後7時30分～

議会報告会を開催します

- 平成28年10月27日(木)
19時～
ケーブルテレビ局舎
- 平成28年10月28日(金)
19時～
大河内保健福祉センター

多くの皆様の参加をお待ちしています。
お気軽にお越しください。

あ
と
が
き



申し合わせにより、この度議会の構成替えが行われ、広報公聴活動調査特別委員会も新体制で心新たに活動することになりました。うっとうしい梅雨もようやく明け、夏本番を迎えました。町民皆様には、健やかに過ごしのことお慶び申し上げます。

近年、観測史上初めてというゲリラ豪雨が全国各地でよく発生しています。

激しい雨が降り続くようでしたら、早めに天気予報や防災情報等を確認していただき、慌てずに近所誘い合って行動し、互いに災難に巻き込まれないよう留意してください。まずは自分の身の安全の確保に努めていただきますようお願いいたします。

これからも町民皆様の声を大切にし、また真摯に受け止めながら町の発展に活かして参りたく思っておりますので、今後とも御支援賜りますようお願いいたします。

(M・F)

委員長	藤原 資広
副委員長	三谷 克巳
委員	山下 皓司
委員	藤森 正晴
委員	小寺 俊輔
委員	松山 陽子